

# 発電所では更なる津波対策を進めています

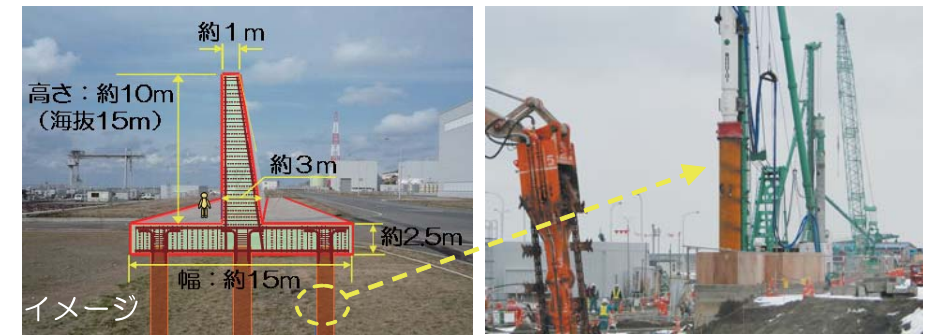
柏崎刈羽原子力発電所では、これまでに津波に対する緊急安全対策を終了していますがより一層の信頼性を確保するために更なる津波対策を進めています。

更なる安全対策の進捗状況 平成24年2月8日現在

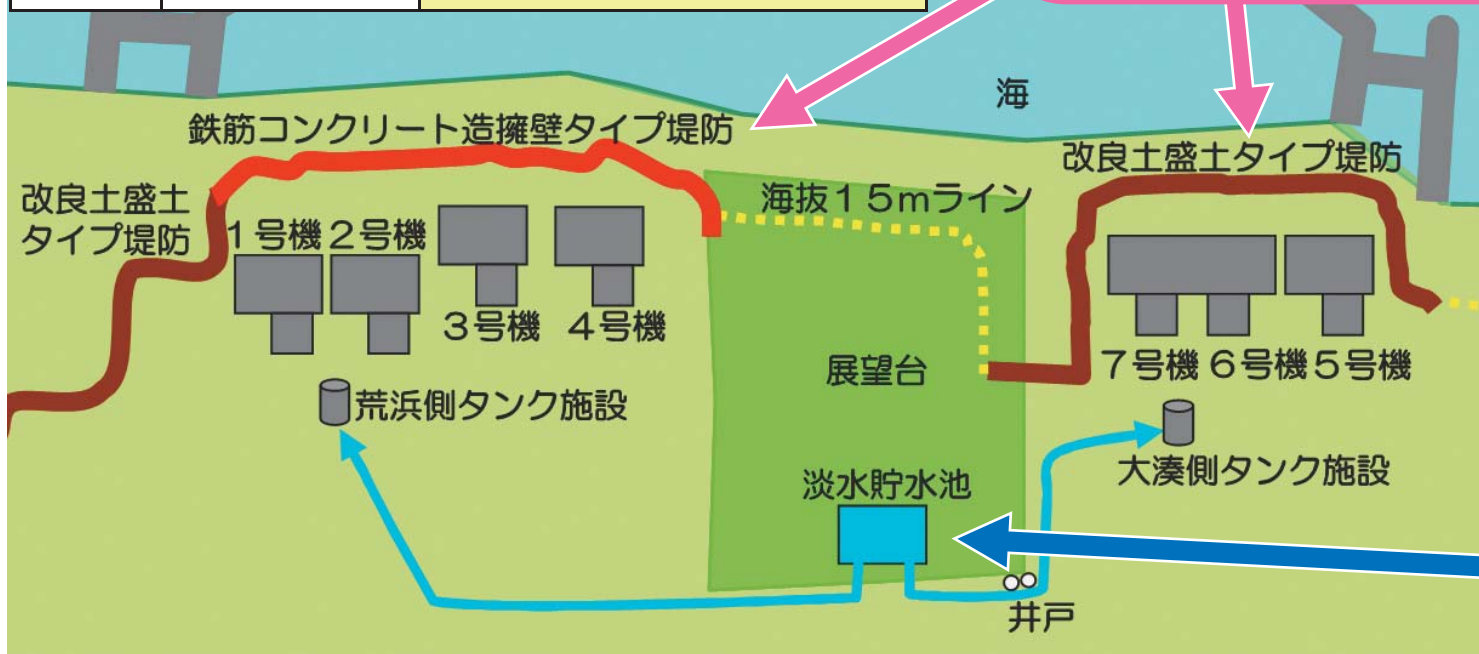
項目		1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機
防潮堤（堤防）の設置		工事中				工事中		
建屋への浸水防止	防潮壁の設置（防潮板含む）	工事中（防潮板完了）	設計中	工事中	工事中	海拔15m以下に開口部なし		
	原子炉建屋等の水密扉化	完了	設計中	設計中	設計中	工事中	工事中	完了
水源の設置		工事中						
ガスタービン発電機車（空冷式）等の追加配備						1台配備済 1台追加手配済（H23年度下期配備予定）		
緊急用の高圧配電盤の設置		完了						
除熱・冷却機能の更なる強化等	原子炉建屋への常設ケーブルの布設	完了	設計中	工事中	工事中	工事中	設計中	完了
	代替水中ポンプ及び代替海水熱交換器設備の配備	配備済	設計中	設計中	設計中	今回定期検査中に配備予定	設計中	配備済
	原子炉建屋トップベント設備の設置	完了	設計中	設計中	設計中	今回定期検査中に工事予定	設計中	完了
	環境モニタリング設備等の増強 モニタリングカーの増設	配備済						
	高台への緊急時用資機材倉庫の設置	設計中						

## 防潮堤（堤防）の設置工事をしています

- ◆ 発電所敷地の海側に設置して、津波の進入・衝撃から安全上重要な施設を守ります。
- ◆ 1～4号機側は、海拔約5mの敷地に高さ10m（海拔15m）の鉄筋コンクリート製の堤防を設置しています。
- ◆ 5～7号機側は、海拔約12mの敷地に高さ3m（海拔15m）のセメント改良土の盛土による堤防を設置しています。
- ◆ 昨年11月より工事を開始し、平成25年6月頃を目途に、出来るだけ早く完成することを目指しています。



1～4号機側の堤防のイメージと工事状況  
基礎となる杭（直径約1.2m）を地下20～50mまで約930本打ち込みます。



## 水源の設置工事をしています

- ◆ 緊急時に原子炉や使用済燃料プールを冷却する水をより多く確保するために、水源となる淡水貯水池の設置工事を10月から開始しています。
- ◆ 大きさは縦64m×横120m×深さ6m、容量は約2万m<sup>3</sup> 海拔約45mに設置して既設のタンクへ自然流下方式により淡水を供給します。
- ◆ あわせて水源として井戸を2本掘っています。（周辺地域への地下水くみ上げの影響はありません）

